

Title	中国企業のグローバル競争戦略と進出概況： アジア地域へ進出したエレクトロニクス産業と自動車産業を中心
Sub Title	
Author	殷, 封封(Yin, Fengfeng) 大林, 厚臣(Obayashi, Atsuomi)
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2014
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2014年度経営学 第2911号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002014-2911

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学大学経営管理研究科修士課程

学位論文（ 2014 年度）

論文題名

中国企業のグローバル競争戦略と進出概況
ーアジア地域へ進出したエレクトロニクス産業と自動車産業を中心ー

主 査	大林 厚臣
副 査	浅川 和宏
副 査	磯辺 剛彦
副 査	

学籍番号	81330169	氏 名	殷封封
------	----------	-----	-----

論文要旨

所属ゼミ	大林厚臣 研究会	学籍番号	81330169	氏名	殷封封
(論文題名)					
中国企業のグローバル競争戦略と進出概況 ーアジア地域へ進出したエレクトロニクス産業と自動車産業を中心ー					
(内容の要旨)					
<p>中国の対外直接投資は年々増加しており、それに伴い様々な業界から海外市場への進出を試みようとしている企業が多くなってきている。その中で、特にアジア地域ないしグローバル地域へ大きく事業を展開しているエレクトロニクス産業と自動車産業の事例が挙げられる。この論文では次のことを検討する。彼らがなぜ海外市場に挑むのか？どのようにアジア地域ないしグローバル地域へ事業を展開しているか、そして彼らにとって国際経営について最も重要なポイントは何か？</p> <p>本論文では、中国のエレクトロニクス企業と自動車企業に注目し、組織マネジメント、人材マネジメント、マインドセット、R&Dの要素を通じてこういった企業を分析した。その結果、(1)中国企業は人材管理に対して徹底的に実力主義を追求し、能力があれば人材を昇進・昇格させる。(2)中国市場の規模は大きいと思われるが、競合他社の多い産業では企業が海外市場を開拓しないと、国内事業の利益が圧迫される。(3)HBE(Home Base Exploiting)、HBA(Home Base Augmenting)の混合型 R&D 戦略がこの二つの産業で多く見られる。</p> <p>そしてそれぞれの産業から一社をピックアップし、同じような産業で活躍されている日系企業と比較し、日中双方の企業はどこが異なるか、なぜ異なるかなどを分析した。その結果、次のことがわかった。(1)中国企業はより短期的に利益追求する志向であり、日本企業のような長期コミットメントをめったにしない。(2)中国企業はより現地適応の戦略を用いている一方、日本企業は自社の組織管理や人材管理などをそのまま持ち込もうとした。</p> <p>本論文の結論は以下三つでまとめられる。(1)中国企業は国内人件費の上昇や市場の過剰供給といった問題に悩まされ、海外市場の開拓を余儀なくされた。(2)中国企業は部品輸出を中心に現地適応戦略を徹底し、利益や市場シェアの最大化を図っている。さらに詳しく言えば、組織の構築や人事制度などほとんど現地法人に委ねている(3)グローバル R&D 戦略に関して、中国企業は本国の技術開発に頼るだけではなく、先進国で R&D センターを設立することで逆に中国市場での製品競争力を強化するのも十分に考えられる。</p>					